

議会だより



子どもたちの防災意識向上などを目的に実施している「1日防災学校」が9月14日に中学校、10月5日に小学校で行われました。

学年ごとにさまざまなプログラムに挑戦する中、小学5年生は炊飯袋「ハイゼックス」を使ったコメの炊き出しを体験し、防災食について学びました。

第95号の掲載内容

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ○第3回定例会等の概要……2P～4P | ○一般質問……5P |
| ○質問の追跡調査……5P | ○議員研修会……5P |
| ○委員会の活動……6P～7P | ○議員全員協議会の概要……7P |
| ○会議の出席状況……8P | ○議会の行事……8P |

発行／鹿部町議会 編集／議会運営委員会 委員長 吉 英樹 副委員長 川村 裕司
委員 船橋 敦子 委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字鹿部 252-1
TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

～令和5年第3回定例会～

令和5年第3回定例会は、9月7日に招集され、会期を9月12日までの6日間と決め、1人の議員が一般質問を行いました。

また、今期定例会は、令和4年度一般会計決算、特別会計決算等の認定5件について、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会に付託され、審査の結果いずれも原案どおり認定すべきものと決定され、委員長報告のとおり認定されました。

なお、町長より決算認定5件のほかに、条例1件、補正予算3件、報告2件、同意3件、その他議案1件の提出と、意見書案2件の審議を行い、全て原案のとおり可決等をし、会期を4日残して閉会しました。

審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。

決算認定

令和4年度一般会計と各特別会計等の決算認定の概要等は、広報しかべ10月号に掲載されていますので、省略しますが、決算審査特別委員会での主な質疑の内容は、次のとおりです。

◆令和4年度鹿部町一般会計歳入歳出決算認定について

※総務費関係【歳出】

●質疑
マイナンバーカードの交付状況は。

●防災・デジタル推進室長
対象人数3649人に対し、交付枚数は2594枚、交付率71.1%となります。

●質疑
約30%が未交付だが、その事情を町は把握しているのか。

●防災・デジタル推進室長
20歳代と30歳代の交付率が低いいため、マイナンバーカードの交付を推進する事業として、今年度、役場庁舎において時間外窓口を開く考えています。

●質疑
マイナンバーカードの

様々な不具合について。

●防災・デジタル推進室長
各課にその検証を依頼していますが、現在、不具合の報告はありません。



※衛生費関係【歳出】

●質疑

ゼロカーボンについて、町では具体的に、どのように進めているのか。

●町長

昨年度策定した再生可能エネルギー導入計画により進めています。
令和5年度中に、施策の実証・実装に向けた検討を行うための協議会を立ち上げることにしています。

●質疑

この計画策定は、鹿部町だけの話ではなく、全国で同じ様なことを行っていることから、計画策定の委託料が高いと思うが。

●町長

今後、契約する際には精査して参りたいと思えますが、このような類の計画は、国からお金がきっちり出て、作ることにすると、業者の方がしつかりとそれを知っていてそのような値段になっているのかなと思えますが、本当にギリギリの価格で来ています。

なお、計画を策定しない限りゼロカーボンに関する事業の補助等の申請ができないなど制約があるため、これはきっちり作っていかなければならぬものです。

※農林水産業費関係【歳出】

●質疑

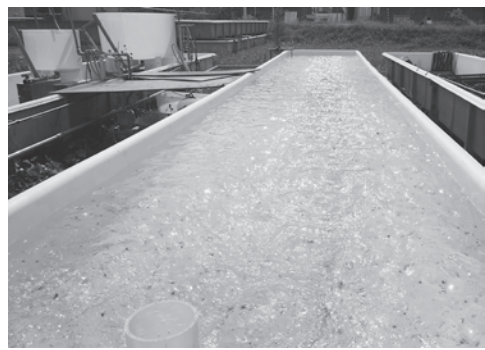
ヒゲマの昨年度と今年度の捕獲実績は。
また、捕獲情報は周知しているのか。

●漁業振興室長

昨年度は2頭、今年度は3頭となります。
周知は、通報のみホームページに場所等を載せていますので、捕獲情報は載せていません。
今後、検討し載せるようにし、防災行政無線放送についても、これから考えていきます。

●質 疑
青のり養殖試験事業について、養殖された青のりは製品化されているのか。

●漁業振興室長
昨年度は試験段階で、製品化はしていませんが、今年度は、成分分析等を行い、サンプル品を作る予定でいます。



※消防費関係【歳出】

●質 疑
駒ヶ岳噴火を想定した訓練が行われた際、全町避難になった場合、函館アリーナを想定した伝達訓練ということでしたが、全町避難について、函館市との間で正式に決まったことなのか。

●防災・デジタル推進室長
函館アリーナの全町避難

については、今回の訓練の想定上の話であり、函館市と最終的な協定は結べておりませんので、今後も函館市と話し合いを持ちながら、協定締結に向けた全町避難の在り方について、今後も進めていきたいと考えています。

●質 疑
また、協定が結べましたら住民の皆様には周知するということとなります。

●町長
トップレベルの話が早いのかと私も思いますので、もう一度私からもアプローチをし、何がネックになっているのかを把握しながら、お願いをして参りたいと思います。

●質 疑
※町税関係【歳入】
渡島管内での鹿部町の収納率の位置は。

●税務会計課長
令和3年度が91.7%、令和4年度が92.8%、比較しますと1.1%の増に

なっています。
渡島管内での収納率の位置は、下から3番目（11市町中）です。

●質 疑
自動車差押タイヤロック方式を導入していますが、その実績は。



●税務会計課長
実績はありませんが、悪質な滞納者には、実施したいと考えています。

●質 疑
対象者は、今のところいないと思っていいます。

●税務会計課長
現在、給与差押等も実施してはいますが、それができないとなれば自動車差押タイヤロック方式を実施せざるを得ないと考えています。
※諸収入関係【歳入】

●質 疑
奨学資金貸付金の滞納について、本人へ請求されたのか。

●子ども教育課長
令和5年度より連絡がない保護者に対し、何らかの返答がなければ本人や保証人に連絡する旨通知をし、3件の連絡が来しました。

それでも連絡がない滞納者には、今後の段階として奨学者本人に連絡するなどの事務の手續きを取ることになります。

◆各会計不納欠損関係
●質 疑
不納欠損処分について。

●税務会計課長、建設水道課長、保健福祉課長
町税及び国保税では、滞納者が死亡して相続放棄や相続人がいないケース、また、財産調査をした結果、差押えできる財産がない場合、滞納処分できる財産がなく生活保護を受けているなどの理由により、執行停止をされたままの状態が時効消滅の5年を迎えるケースが主な処分理由です。

公営住宅使用料では、滞納者が死亡して時効を迎えた使用料を相続人が援用を

申し出たことにより処分したものです。
介護保険料では、延長なく時効を迎えた保険料のほか、納付誓約などで時効延長していたが、結果、不履行や未払いとなり時効を迎え処分したものです。

◆各会計未収金関係
●質 疑
税金や使用料、水道料などで未収金があるが、担当だけに任せるのではなく、横断的なプロジェクトを編成し、チームを作り、未収金の回収にあたるなどの考えはあるのか。

●町長
どのような効果等があるのか吟味しながら進めて参りたいと思います。

また、横断的に管理職員で徴収に行こうかという話も出ていましたが、一方で、何もせずに払っていただいている方々に対し、役場の費用をかけて未収金を徴収することの公平性がありません。

公平性のバランスを考えながら、今後協議して参りたいと思います。

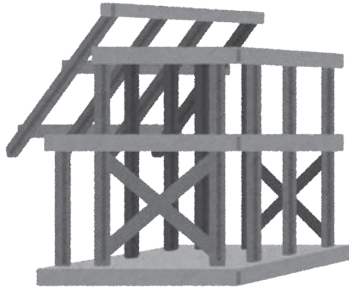
決算審査特別委員会

条例

◆鹿部町民間賃貸住宅建設促進助成条例の制定について

民間資金を活用した賃貸住宅の建設を促進することにより町民の住環境の向上と移住・定住人口の確保及び地域経済の活性化を促進することを目的に、本条例を制定したものです。

内容は、町内に新たな賃貸住宅を建設する方に対し、建設費の一部や賃貸住宅の固定資産税相当額を助成するものです。



●質疑

1軒につき150万円の助成で、10軒分1500万円の予算措置をされると思いますが、その後の動きは。

●企画振興課長

本条例の議決を経て規則を制定し、助成の申請を受け付けることとなります。

補正予算

◆令和5年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ2715万7千円を追加し、予算総額を44億1101万9千円としました。

内容は、人口減少対策として実施する民間賃貸住宅建設促進助成事業と今年度、秋から実施予定の新型コロナウイルススワクチン接種事業にかかる関連費用等の追加が主なものです。

◆令和5年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ171万6千円を追加し、予算総額を7億5715万6千円としました。

内容は、北海道国民健康保険運営方針に基づき導入した全道統一システム負担金の確定に伴う運用保守等負担金を追加したものです。

◆令和5年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

保険事業勘定分の歳入歳出それぞれ2435万5千円を追加し、予算総額を4億6320万7千円としました。

令和4年度介護給付費交付金等の精算に伴う国庫支出金過年度分償還金などの追加が主なものです。

その他

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

新たに後志広域連合が加入することに伴い、当該組合の規約変更について、議会の議決を求めたものです。

報告

◆決算に関する附属書類の提出について

地方自治法の規定に基づき令和4年度鹿部町財産に関する調書と令和4年度における主要施策の成果説明書が提出されました。

◆令和4年度鹿部町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

鹿部町の財政に関しての各指標は、早期健全化基準を大幅に下回っており、健全運営されていると報告を受けました。

なお、判断比率の数値等は、広報しかべ10月号に掲載されています。

同意(人事)

◆鹿部町固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和5年9月16日をもって任期満了となる櫻田憲史氏、松田克彦氏、飯田英和氏の再任について、満場一致で選任することで同意されました。

○櫻田憲史氏 45歳

字本別569番地1402

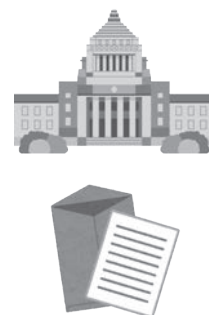
○松田克彦氏 65歳

字宮浜198番地12

○飯田英和氏 58歳
字大岩39番地1

意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。



◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣



高橋 茂夫 議員

排水処理方針の策定について

鹿部町の将来のため、河川等の生活環境の改善は避けて通れない課題だと認識しております。

そこで、町全体の排水処理方針を早急に決定し、特に合併浄化槽の設置を促進するための支援の検討が急がれていると思いますが、町の考え方を伺いたいと思います。

■質問と答弁の要約

Q. 1

排水処理にかかる町の考え方について。

A. 1

これまで、町では下水道処理や集落ごとの大型浄化槽の設置などについて検討して参りましたが、事業費が莫大であることや維持管理等にも課題が多いことから、現在、個別の浄化槽による排水処理が妥当ではな

いかと考えています。

なお、令和5年度中には、近隣自治体の情報収集や庁内関係課との調整を図り、令和6年度には議員皆様はじめ町民皆様のご理解をいただきながら、排水処理にかかる方針を決定して参りたいと考えています。

A. 2

そのうえで、合併処理浄化槽の設置にかかる経費の一部支援など、国等の交付金事業を活用しながら進めることになるものと考えていますが、現段階での担当レベルでの計画では、令和6年度には交付金の活用ができるよう地域計画を策定し、令和7年度から助成事業の実施を目指すものとしています。

Q. 2

合併浄化槽の設置数は。

A. 2

町内の住宅にかかる合併

Q. 3

管内の排水処理の実態は。

A. 3

管内の下水道着手自治体は11市町中8町で、約7割が着手済みです。

Q. 4

鹿部漁港や本別漁港の水質検査の実施状況は。

A. 4

令和2年度から漁場試験調査事業の中で水質検査を自主的に行っています。

鹿部漁港、本別漁港は、いずれも水質汚濁防止法の最低基準をクリアしています。

Q. 5

毎年、水質検査を行うのか、それとも何か問題があった時に行うのか。

A. 5

令和2年度には鹿部漁港を、令和3年度には本別漁港を、その後は鹿部漁港として、毎年実施しており、自主的ではありませんが、毎年実施したいと考えています。

質問の追跡調査

鹿部町議会では、議員の一般質問に対し、行政側が「検討したい」など即答をさける答弁をした場合、町長等は次の定例会で行政報告の最後に進捗状況や取組内容を報告する「一般質問の追跡調査制度」を試行的に実施していますが、令和5年第2回定例会では、追跡調査対象事項がありませんでした。

また、理事者側からの行政報告においても、進捗状況等の報告はありませんでした。

議員研修会

7月4日、北海道町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

今年は、ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長の五百旗頭（いおきべ）真氏と政治ジャーナリストの田崎史郎氏を講師に招き、「ウクライナ危機後の世界と日本」、「日本政治の舞台裏」と題して講演をいただきました。



一般質問・質問の追跡調査・議員研修会

総務経済常任委員会 所管事務調査

民生文教常任委員会 所管事務調査

総務経済常任委員会は、

所管事務調査における施策提言等にかかる進捗状況等を把握するため、所管事務調査を実施せず、次の調査事件について町部局との意見交換会を実施しました。

- (1) 道道大沼公園鹿部線等の視察について（令和3年10月29日調査）
- (2) 河川等の管理状況について（令和4年4月27日調査）

概ね各所管事務調査報告書に基づき所要の手続きが進められていることを確認しました。



なお、道道大沼公園鹿部線等の視察については議会だより第88号に、河川等の管理状況については議会だより第90号に、それぞれ掲載しています。

◇調査年月日
令和5年7月18日

◇調査事項

訪問介護（ホームヘルプ）の利用状況等について

◇調査方法
担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査を実施した。

◇調査の結果

○訪問介護の概要について
様々な介護保険サービスのうち、家で生活しながら利用する在宅サービスに該当するサービスであり、要介護（1～5）の認定を受けた方が対象となるが、対象外であっても、本人の心身の状態等により要支援認定等を受け介護予防サービスを利用できる場合もある。

サービス内容は、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活

援助）である。



また、通院などを目的とした乗車・移送・降車の介助サービスを実施する事業所もある。

なお、利用者負担は、身体介護・生活援助・通院時の乗降等介助などの区分によりそれぞれ定められている。

○現状について

1 訪問介護の利用者（令和4年度実績）

訪問介護利用者数は399人、件数として2569件、訪問型サービス（要支援認定者等）利用者は158人、件数として561件、小規模多機能型居宅介護利用者111人、件数として1157件である。

2 地域包括支援センター

保健師・社会福祉士・主

任ケアマネジャーなどの専門職を地域包括支援センターに配置し、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう、総合的な相談支援を行い、介護に関すること以外に、健康や福祉、利用や生活、認知症に関する相談を受け、適切な機関やサービスにつないで高齢者とその家族を支援する拠点となっており、介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメントの役割を担っている。



3 サービス事業所

町内における訪問介護サービス事業所は、鹿部町社会福祉協議会の1事業所となるが、町外に所在するサービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームなどの住所地利対象施設に

4 介護人材確保事業

高齢化に伴い、介護サービス利用ニーズが高まる中、町内のみならず、全国的に介護人材が不足している現状であることに鑑み、鹿部町では令和2年度から介護職員初任者研修受講補助事業を創設し、町内事業所の介護員の確保・資質向上のため、介護職員初任者研修を受講した方のうち、町内事業所に継続して就労する町民の方へ受講料の3分の2を補助しているが、コロナ禍の影響もあり、補助実績は令和2年度の2件のみである。

○課題について

町内には、訪問介護事業所が1か所しかなく、介護員も多くない現状であり、同じ曜日や時間帯に利用希望者が重なった場合、利用したいタイミングでサービスを利用できない場合があり、訪問介護事業所とその他人材が不足している。

◇調査意見

鹿部町の高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせるまちにしていきたいための一つのサービスとして訪問介護があるものの、現状や課題を踏まえれば、介護人材確保事業の充実・拡充は急務であり、介護職員初任者研修受講補助事業に係る広報周知を積極的に行うほか、当該補助要件の緩和・拡充を検討することで、人材の確保につなげることを強く望むものである。



また、町内の福祉・介護関連事業者へ人材確保等に資する必要な支援を実施するため、相談や支援体制の構築を早急に進められたい。

なお、現在、鹿部町地域福祉計画の見直しが進められていることから、それらに関する具体的な支援体制等を組み込んでいただきたい。

議員全員協議会

■令和5年第6回議員全員協議会

○開催年月日

令和5年8月10日

○議題

社会福祉法人渡島福祉会が運営する老人デイサービスセンターの事業廃止について
平成12年4月に町が設置したデイサービスセンターは、設置当初から渡島福祉会に運営を委託し、平成23年4月からは渡島福祉会が自ら運営しています。

なお、平成23年4月から渡島福祉会が運営するに当たり町より土地・建物・物品などを無償で譲与し、その際にデイサービス事業の運営は渡島福祉会自らが行う旨の契約を交わしていましたが、今年に入り専門職の退職、また、新型コロナウイルス感染症の影響等により渡島福祉会全体としての収益が減り、デイサービス事業の運営が困難となり、令和5年7月31日付けで渡島福祉会から事業廃止届が町に提出され、これを受理した旨説明を受けました。

議会を傍聴してみませんか

～次回定例会は12月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入口設置の傍聴人受付票に、住所・氏名などを記入するだけです。



議会インターネット配信 (YouTube) のお知らせ

鹿部町議会では、町民に開かれた議会を実現するため、令和5年第4回定例会（12月）より本会議の様子をオンライン動画共有サイト「YouTube（ユーチューブ）」でライブ配信と録画配信を予定しています。

ライブ配信等の詳細については、鹿部町公式ホームページをご覧ください。

なお、インターネットによるライブ配信以外にも、役場1階多目的スペースに設置の大型テレビでも視聴することができます。

令和5年8月～10月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	佐藤 頼幸	千葉 光義	三谷 百十樹	川村 裕司	吉 英樹	中川 一	船橋 敦子	高橋 茂夫	浦 梅吉
第6回議員全員協議会(8/10)	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(9/4)	―	―	―	○	○	○	○	○	―
令和5年第3回定例会(9/7) 1日目	×	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会(9/7)	―	○	―	―	○	○	○	―	○
民生文教常任委員会(9/7)	×	―	○	○	―	○	―	○	―
決算審査特別委員会(9/8)	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年第3回定例会(9/8) 2日目	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第7回議員全員協議会(10/17)	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集 10/17)	―	―	―	○	○	○	○	○	―

議会の行事

8月

- 10日 第6回議員全員協議会 (全議員)
- 14日 令和5年度鹿部町二十歳記念式典
(議長)
- 24日 渡島・檜山町村議会議長連絡会議
(議長)

9月

- 1日 南渡島消防事務組合第2回議会定例会
(関係議員)
- 4日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 7日 第3回定例会(1日目) (全議員)
総務経済常任委員会(全委員及び議長)
民生文教常任委員会 (全委員)
- 8日 決算審査特別委員会(全委員及び議長)
第3回定例会(2日目) (全議員)
- 13日 令和5年度敬老会 (議長)
- 24日 第28普通科連隊創立61周年及び函館駐
屯地開庁73周年記念行事 (議長)

- 28日 渡島福社会理事会 (議長)
大漁祈願祭 (議長)
- 30日 立憲民主党政経セミナー (議長)

10月

- 5日 道南地区森林・林業・林産業活性化推
進議員連盟連絡会現地研修会(全議員)
- 16日 鹿部町議会議員研修会 (全議員)
渡島・檜山管内市町議会議員研修会
(全議員)
- 17日 第7回議員全員協議会 (全議員)
議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 18日 第72回全国漁港漁場大会 (議長)
- 23日～26日 道外行政視察
高知県中土佐町・梶原町 (全議員)
- 28日 自民党北海道政経セミナー (議長)
- 30日 渡島廃棄物処理広域連合議員全員協議
会・第2回議会定例会 (関係議員)